

# 一乗谷朝倉氏遺跡資料館(1/2)

眠りから覚めた戦国城下町一乗谷の  
発掘調査・整備・研究・展示をしています

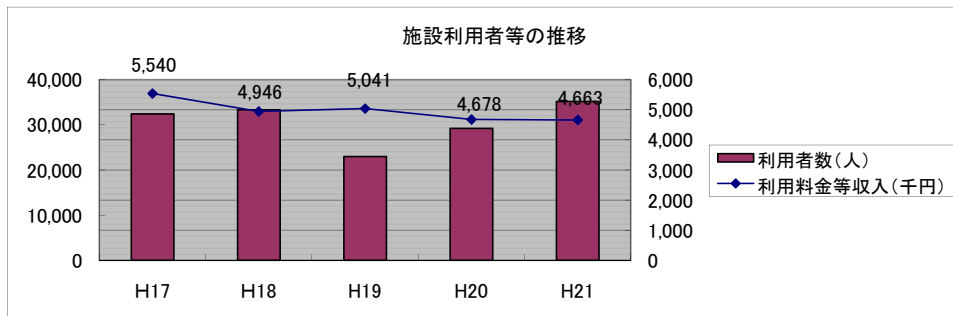
所在地	福井市安波賀町4-10		
設置年月日	昭和56年8月20日		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡に関する資料の収集、保管および展示等を行うとともに、遺跡の発掘調査、整備、研究等を実施し、県民の文化の向上に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造 一部2階建 延面積2,052㎡ 展示室・講堂 出土遺物約160万点収蔵		
職員数	職員7人 非常勤嘱託5人 アルバイト1人 計13人		

## 利用状況等

	H17	H18	H19	H20	H21
利用者数(人)	32,391	33,329	22,963	29,249	35,190

## 利用料金等

観覧料  (常設展)	一般・大学生	100円
	小・中・高生	無料
	70歳以上	無料



利用状況の推移	平成16年度福井豪雨の被災により利用者数が半減し、平成17、18年度と増加しましたが、平成19年度は夏季の猛暑と公共交通機関の便数の半減により、利用者が対前年度比約69%と大幅な減少になりました。
	一乗谷朝倉氏遺跡が平成21年6月開催の全国植樹祭の会場になったことなどから、平成20年度の利用者数は、対前年度比約127%と増加しました。
	さらに平成21年度の利用者数も、対前年度比約120%と増加しましたが、まだ福井豪雨前の利用者数には回復していません。

## 施設の特徴

朝倉義景館跡全景(南から)



- 一乗谷朝倉氏遺跡の発掘調査、環境整備、研究等を実施するとともに、その研究成果を発表、展示しています。
  - ・朝倉氏遺跡は、先駆的な大規模遺跡として全国的に注目を集めています。
  - ・福井県の知名度アップや集客力の向上に寄与しています。
  - ・県民の郷土に対する理解を深め、他県に誇れる施設になっています。
- 貴重な歴史的遺産である朝倉氏遺跡の保存を図るとともに、地域住民、観光等関係団体、行政機関の連携により、遺跡の活用とその周辺地域の観光振興およびイメージアップを推進するため、活用推進協議会を設立し、来訪者の増加を図っています。
- 福井県観光連盟と連携し、旅行代理店等に対して、誘客のためのPRを実施しています。

## 平成21年度の特徴について

事業実績	○企画展および全国植樹祭記念テーマ展を開催しました。(5,440千円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第17回企画展 金工の技と美～金属製品にみる一乗谷～(7/18～8/31) 4,874人</li> <li>・全国植樹祭記念テーマ展「くらしの中の木」(5/14～6/17)</li> </ul>
	○公開講座を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展記念講演会(8月)</li> <li>・朝倉氏ゆかりの地を歩く 1回(10月)</li> <li>・朝倉氏の歴史講座 1回(9月)</li> <li>・文化の日記念公開講座(11月)</li> <li>・ふるさとの日公開講座(2月)</li> </ul>
	○遺跡の発掘調査を実施しました。(41,460千円) <ul style="list-style-type: none"> <li>・門ノ内地区 2,500㎡</li> </ul>

# 一乗谷朝倉氏遺跡資料館(2/2)

行政コスト計算書(平成21年度) (単位 千円)

	総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	81,064	69.1%
	退職給与引当金繰入	△ 2,501	△ 2.1%
	賞与引当金繰入	3,565	3.0%
	計	82,128	70.0%
物にかかるコスト	物件費	23,146	19.7%
	維持補修費	433	0.4%
	減価償却費	11,321	9.6%
	計	34,900	29.7%
その他	支払利息	0	0.0%
	その他	331	0.3%
	計	331	0.3%
合計	117,359	100.0%	96.6%
収入	利用料等収入	2,965	2.5%
	一般財源	114,394	97.5%

バランスシート(平成22年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産	前年比		負債	前年比	
有形固定資産	291,254	96.3%	固定負債	46,722	94.9%
うち土地	26,361	100.0%	うち退職手当引当金	46,722	94.9%
うち建物・設備	224,773	95.5%			
うち資料等	40,120	100.5%			
投資等	0	-	流動負債	11,315	112.9%
流動資産	0	-	純資産	233,217	95.8%
計	291,254	96.3%	計	291,254	96.3%

主な指標 (単位: %、円/人)

	H21	H20	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	360	372	96.7%
県民1人あたり将来負担額	58	61	94.6%
世代間負担率	80.1	80.4	99.6%

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>人にかかるコストの割合が他施設と比較して高くなっていますが、これは朝倉氏遺跡の発掘整備等に従事する専門職員の人件費が含まれているためです。</p> <p>行政コスト全体では、概ね前年度並となっています。</p> <p>収入では、利用者数が前年度より約20%増加したのに伴い、利用料金等収入が約14%増加しました。</p> <p>資産については、建物がそのうち約8割を占めています。約160万点の出土遺物については、有形固定資産に含んでいません。</p> <p>また、将来の財政負担要因となる負債は退職手当引当金等のみですので、県民1人あたりの将来負担額は小さくなっています。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>管理部門：施設の維持管理、資料の保管と管理 【H22予算額：約29百万円】</p> <p>事業部門： 企画展開催事業 … 企画展の開催 【H22予算額：約5百万円】 遺跡発掘調査事業 … 未調査地区の発掘調査 【H22予算額：約35百万円】 遺跡環境整備事業 … 発掘調査済み地区の環境整備 【H22予算額：約20百万円】</p>
今後の課題	<p>史跡公園として朝倉氏遺跡の一層の活用推進が図られるように、遺跡の発掘、整備に係る検討が重要となっています。</p> <p>福井豪雨前の入館者数には回復しておらず、入館者増加のため、情報発信やPRの方法等について検討が必要となっています。</p>
今後の事業方針 取組み内容	<p>一乗谷朝倉氏遺跡新10か年整備・活用計画（平成17～26年度）に基づき、朝倉氏遺跡の整備を充実させることにより、イメージアップを図り、憩いや観光への活用を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊歩道沿いや山城の発掘調査</li> <li>・発掘調査済み地区の平面復原・修景整備</li> <li>・資料館の展示機能・展示内容の検討や課題の洗い出し</li> <li>・体感出来る遺跡、魅力ある遺跡の実現</li> <li>・重要文化財の保存、管理の強化</li> </ul>

